

レジメン名	FP + Pembro
対象疾患名	食道がん
1クールの日数	28日
催吐性リスク	高度
その他注意事項	

No	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与時間	投与日	
1	生食	50mL	点滴静注	5分	day 1	
2	生食 キイトルーダ(Pembro)注	100mL 200mg		30分		
3	生食	50mL		5分		
4	生食 硫酸Mg	500mL 10mEq		1時間		
5	アクチット フロセミド注	500mL 20mg		15分		
6	パロノセトロン注 アロカリス注 デキサート注	0.75mg 50mL 235mg 3.3mg		30分		
7	生食 シスプラチン(CDDP)注	500mL 80mg/m <sup>2</sup>		1時間	day 2-5	
8	生食 デキサート注	50mL 3.3mg		15分		
9	生食 5-FU注	500mL 800mg/m <sup>2</sup>		24時間		day 1-5 (持続)
10	生食	500mL		1時間		day 1
11	ヴィーンF	500mL		1時間		day 1-3
12	アクチット	500mL		1時間		

【化学療法による主な副作用】 悪心、嘔吐、食欲不振、下痢、倦怠感、口内炎、色素沈着、肝障害、腎障害、浮腫、電解質異常、神経障害(末梢神経障害、聴力障害)

【免疫療法による主な副作用】 間質性肺炎、大腸炎、肝障害、腎障害、皮膚障害、甲状腺機能障害、下垂体機能障害、1型糖尿病、重症筋無力症、神経障害、Infusion reaction

【その他注意事項】

●CDDP: 腎障害予防として、飲水指導を実施(OS-1を推奨)。

●5-FU: ワーファリン、フェニトインと薬物相互作用あり(併用薬の作用増強)

●Pembro: 免疫療法施行前に必要な検査を行う。胸部XP、心電図、造影CT検査も実施する。ルーチンの採血検査 + 以下の検査を1~3ヶ月ごとに施行する。

・間質性肺炎: KL-6 SP-D 胸部CT

・甲状腺機能障害: TSH FT4 FT3

・下垂体機能障害・副腎不全: ACTH コルチゾール

・1型糖尿病: 血糖 HbA1c C-ペプチド

・大腸炎: 内視鏡検査 造影CT

・肝障害: エコー 造影CT